

たてやま映画とごはんの会

CINEMA & GATHERING IN TATEYAMA '26 FALL

木曜日をスペシャルにするチャレンジ



©ナンキョクちゃん

CINEMA & GATHERING IN TATEYAMA '26 FALL

11/05（木）
奥会津の木地師
The Kijishi of Oku-Aizu

11/12（木）
アマルール 大地の人 バスク
Amalur

12/03（木）
カタロニアの復活祭
La Pasqua a Catalunya

昼の部
OPEN 13:30　START 14:00
お茶とお菓子つき
定員10名ほど

夜の部
OPEN 18:30　START 19:00
ワンドリンクとお弁当つき
定員10名ほど

フード提供：Maison de Terra（三軒町） SUNAO Retreat 奥白浜（白浜町） LITTLE ばんざい（六軒町）
共催：民族文化映像研究所　企画協力：信陽堂編集室 / tu.ne.Hostel　主催：南極スペース

space.aguije.jp/fall26

チケット予約・販売
インフォメーション

奥会津の木地師

The Kijishi – Woodturners of Oku-Aizu

予告編

1976年 ／ 55分 ／ 自主制作
文部省特選／日本映画ペンクラブ推薦
福島県南会津郡田島町針生

11/05（木）



1976年キネマ旬報文化映画ベスト・テン3位

福島県南部のいわゆる奥会津の山々は、かつて木地師がさかんに仕事をしていた。塗物の下地になる椀や皿、盆などの形を作る人が木地師です。

木地師は材料の木を求めて山を歩き、適当な木のある場所に木地小屋を建て、木のある間、そこで作業をします。木を使いつくすと、また次の場所へと移動していくのです。こうした山から山への移動と手びきロクロによる、素朴な木地つくりの作業は、百年前、昭和初期まで行なわれていました。奥会津には、そのころの経験者がまだ二人、高齢で存命していました。この映画は、その生存者を中心に、田島町の人々の手によって、当時の木地師の生活をできるだけそのまま、再現してみたものです。自然の中に同化しつつ力強く生きてきた、簡潔な昔の人の生きざまが、土の香りまでありのままに記録されています。

昼の部 MATINÉE SHOW

- 13:20 開場
- 14:00 上映開始
- 15:10 お茶とお菓子

スイーツ担当
Maison de Terra

- 16:10 終了

早割
¥3,000 → **¥2,700**

夜の部 EVENING SHOW

- 18:20 開場
- 19:00 上映開始
- 20:10 ワンドリンクとお弁当

お弁当担当
SUNAO Retreat 奥白浜

- 21:40 終了

早割
¥4,100 → **¥3,800**

アマルール　大地の人 バスク

Amalur

予告編

1981年 ／ 105分 ／ 自主制作
コレジュ・ド・フランス形質人類学研究所 共同制作
フランス・バスク地方／スペイン・バスク地方

11/12（木）



1982年キネマ旬報文化映画ベスト・テン9位

ヨーロッパの西南、ピレネー山脈が大西洋に迫るところに位置するバスク地方。フランス側に25万人、スペイン側に300万人のバスク民族が、ピレネー山脈をはさんで住む。

フランス側バスクの人たちの生活の中心は、羊を主にした牧畜である。春から秋にかけて羊を山に放牧する。男たちは羊を連れて山へ行き、カヨラールとよばれる小屋で共同生活をしながら、羊の乳をしぼってチーズを作る。

男たちが山へいったあと家を守るのは女たちである。バスク語で主婦を「エチェコ・アンドレア」、家の女とよぶ。バスクの人々にとって、家は祖先もともに住む場であり、大地の値からの宿る場でもある。バスク語でアマ・ルールは、母なる大地という意味である。バスクの人たちは、自らを大地の人とよぶ。大地を耕し、山で羊を飼って暮らしてきた。

昼の部 MATINÉE SHOW

- 13:20 開場
- 14:00 上映開始
- 16:00 お茶とお菓子

スイーツ担当
Maison de Terra

- 17:00 終了

早割
¥3,300 → **¥3,000**

夜の部 EVENING SHOW

- 18:20 開場
- 19:00 上映開始
- 20:45 ワンドリンクとお弁当

お弁当担当
LITTLE ばんざい

- 22:10 終了

早割
¥4,500 → **¥4,200**

カタロニアの復活祭

La Pasqua a Catalunya

予告編

1988年 ／ 57分 ／ 自主制作
コレジュ・ド・フランス形質人類学研究所 共同制作
フランス・カタロニア地方

12/03（木）



カタロニアは南フランスからスペインにかけての地中海沿いの地域で、現在はフランス、スペイン両国に分断されている。これはフランス側カタロニアのペルピニャンを中心にした復活祭の記録である。

ペルピニャンでは、巨大な十字架を先頭に、懺悔者をあらわし長い三角帽子を被り顔をかくすコンフレリー（信仰者集団）や数十のミステリー（キリストの受難をあらわすつくりもの）を担いだコンフレリー、一般信者たちの長い行列が、サンジャック教会から町へ向かう。これは十字架を背負い処刑場に向かったキリストの苦しみに近づこうとする儀礼である。カタロニアの復活祭には地域毎に特色のある習俗が現れる。また復活祭につきもののエスカルゴ料理、あるいはキリスト教伝来以前のカタロニアの習俗を偲ぶことができる。

昼の部 MATINÉE SHOW

- 13:20 開場
- 14:00 上映開始
- 15:10 お茶とお菓子

スイーツ担当
Maison de Terra

- 16:10 終了

早割
¥3,000 → **¥2,700**

夜の部 EVENING SHOW

- 18:20 開場
- 19:00 上映開始
- 20:10 ワンドリンクとお弁当

お弁当担当
SUNAO Retreat 奥白浜

- 21:40 終了

早割
¥4,100 → **¥3,800**



photograph: Kayo SEKIGUCHI.

ゲスト：箒（ほうき） 有寛（ありひろ）さん（民映研代表）

自己紹介は必要ありません
感想も求めません

とはいえ映画を観たあと
浮かびあがる疑問や
様々な思いがあると思います
スイーツをいただきながら
お弁当を頬張りながら
おしゃべりを楽しみましょう

（ひめだ ただよし）（みんえいけん）
姫田忠義と民映研

ドキュメンタリー映画監督、映像民俗学者。民族文化映像研究所（民映研）所長。民俗学者、宮本常一に師事した。民映研は日本の基層文化を映像で記録・研究する事を目指して出発した民間の研究所。1976年創立。半世紀近い活動から、119本の映画作品と150本余りのビデオ作品が生まれています。

南極スペース（なんきょくすぺーす）
〒294-0036
館山市館山1244　space@aguije.jp

駐車場の用意はございません。歩行が困難な方向けの乗降場として駐車スペースが2台分ございますのでご利用ください。自転車、または『渚の駅 たてやま』隣りの新井海岸駐車場から歩いて来てください（無料・徒歩5分）。
南極スペースはコワーキングスペースです。シェアオフィス、自習室、茶室、書斎、仕事場、マンガ喫茶、勉強部屋としてご利用ください。

会場アクセス